

令和6年度 長崎市立稲佐小 学校教育目標及び教育方針

R7.1.8

学校教育目標「たくましく未来を切り拓く子どもの育成」

合言葉は「なりたい自分になる」

<p>令和を生きる子どもたちのニーズを捉えた「学びの多様化に応える学校」の創造</p> <p>【時代の要請・経営の重点】</p>	<p>令和の学びへの転換</p> <p>目指す児童像</p> <p>○いっぱい学ぶ子 「学力グングン」</p> <p>学力向上プラン（校内研修）の充実 ※1</p> <p>◎子どもに委ねる授業推進 ○教科担任制の推進 ○特別活動を要とした実践 ○GIGAスクール構想の推進</p>	<p>目指す学校像</p> <p>○学力を保障する学校</p> <p>●自己選択・自己決定による自律的な学び 1～2割 ●教材研究の充実 ●フロア・学年の児童理解促進 ●いなさの学び（しゃべり場等）の継続 ●Qubenaで授業改善 ●デジタルシチズンシップ教育</p>	<p>目指す教職員像</p> <p>○学び続ける教職員</p>
	<p>特別支援教育の充実</p> <p>○なかよく協力する子 「心ホカホカ」</p> <p>特別支援教育の推進 ※1</p> <p>◎違いを認めあえる学級 生徒指導の徹底 ※1 ●生活集会（月目標等）●いなさっ子の一日【改訂版】 道徳教育・図書活動・平和教育・国際理解教育・人権教育の充実</p>	<p>○心を育てる学校</p> <p>●場と時間の構造化 ●行動の原則 ●共通理解事項</p>	<p>○一人一人を大切にする厳しく優しい教職員</p>
	<p>不登校</p> <p>○さいごまでやり抜く子 「元気モリモリ」</p> <p>健康教育・給食・体育の充実</p>	<p>○体を鍛える学校</p> <p>●ねばり強い学び ●習慣の継続 ●行事での役割</p> <p>●あはは運動 ●3つの約束（挨拶・履物揃え・はさみ歩き）</p>	<p>○自主的・協力的に創造、実践する教職員</p>
	<p>不登校（傾向）対策の推進 ◎SSR（スペシャルサポートルーム）の充実</p>	<p>○地域とともに輝く学校</p> <p>●別室登校支援員の活躍 ●開かれた学校（デジタルサイネージ・通信・自治会等連携）</p>	<p>●欠席対応（3日・5日）</p>

※1 各校務分掌チームで共通実践計画を作成し、提案・実践・見直しサイクルにより、凡事徹底を図る。

教職員の働き方（働き甲斐）改革

- ◎何をするかより、誰とするか（一人一人をリスペクトできる組織）
- ◎業務改善の推進（校務DXの積極導入・「この指とまれ」方式の研修・少しの工夫の積重ね）
- 1日の仕事に対する見通し（帰宅時間宣言→退勤ボードの徹底）
- ワーク・ライフ・バランス（私生活の充実）

令和6年度 長崎市立稲佐小 3学期の重点

学校教育目標「たくましく未来を切り拓く子どもの育成」をめざし
学びの多様化に応える学級（安心）をつくる

いっぱい学ぶ子

まずは、「子どもに委ねる授業」の1割達成

※見たい姿は、
教師は、確かな教材研究の基、適切な環境調整を図る。
子どもは、自己選択・自己決定により、ねばり強く自ら学ぶ。
（自由進度学習は有効な1方策。残り50日試行錯誤、創意工夫）

なかよく協力する子

教室環境の整備と通常授業での実践で安心空間

※見たい姿は、
教師は、爽やかな環境を維持し、常にほめるチャンスをつかむ。
子どもは、級友との違いを受け止め、苦手を互いにフォローする。
（「い」の授業スタイルを活用し、子ども同士の対話を大切に）

さ いごまでやり抜く子

教師課題＋ α で選択・決定の機会を創出

※見たい姿は、
教師は、子どもが自力完遂するために必要な支援を工夫する。
子どもは、自分で考え、計画したことを最後までやりぬく。
（「い」の授業スタイルを活用し、「ふりかえり」を大切に）

